フランス式庭園

校章

農林高校新聞

Yamanashi prefectural norin high school

発行者
山梨県立農林高等学校
甲斐市西八幡4533
TEL 055 - 276 - 2611
FAX 055 - 279 - 1413

続・50 cm革命

校長　古郡　文春

昨年、アメリカ合衆国副大統領カマラ・ハリス氏の演説で、久しぶりに胸をつく言葉を聴くことができました。ハリス氏は、演説の中で子供たちにこう訴えました。「志高く夢みよ。信念を持って先陣を切れ、たんに前例がないからと他人が否定しても我が道をゆけ。私たちは、みなさんの一歩一歩に喝采を送ります」

さて、経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）では、次世代に向けてコンピテンシーを再定義する「Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ２０３０プロジェクト」で、新たな学習枠組みとして「ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）」を提唱しました。中心的な概念に据えているのが「生徒エージェンシー」です。文科省では、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」と解説しています。また、このプロジェクトでは、新しい時代に必要な力として「新たな価値を創造する力」「対立やジレンマを克服する力」「責任ある行動をとる力」と解説していました。この概念は、昨年度から皆さんに伝えてきた「50 cm革命」につながるものであると思います。これからますます進展する情報化時代。そのような時代の中であって求められるものは、コンピューターで代替できない夢・志・想像力や芸術的な感性、柔軟な対応力であると思います。私は、全校生徒の皆さんに、本年も同じことを訴えます。それは、『本校の恵まれた環境の下、高き志を常とし、「昨日の自分を超えて行く」という心構えで学び続け、意欲を持って考え抜き、グループで学び合い、創発的に何かを生み出してほしいと願っています。一人ひとりが勇気を持って第一歩を踏み出す50 cm革命を起こしてください』

最後に大変嬉しい報告をいたします。本校では、昨年度、文部科学省マイスター・ハイスクール（次世代地域産業人材育成刷新事業）に応募し、この程、採択されました。本校の主な取組は、事業名として、山梨ワイン発展のための協働と若手技術者の育成～ワイン醸造学習を中心としてワイン県やまなしの地域資源活用、地域活性、新たな価値を創造する職業人材の育成を目指して～というものであり、それに向け5学科が連携し事業を推進していきます。地域の方々のご協力とご理解をお願いする中、3カ年の研究の船出となります。農林高校生、夢・希望を持って、学校全体で50 cm革命を起こしましょう。

「レベルアップタイム」（放課後講座）

研究主任　保坂　由美

「レベルアップタイム」は、就職や進学に向けての基礎学力を高める学習や、資格取得に向けての学習、生きる力を高めるための学習を目的として、生徒が自主的に参加する講座です。月曜日の放課後行われるこの時間を活用して、生徒の皆さんがいろいろな意味でレベルアップしてほしいという願いを込めて開設され、5年目を迎えました。今年度は、「作文・小論文」「ＳＰＩ基礎」「韓国語」「フラワー技能士三級学習」「簡単な木材加工」「二級土木試験対策」「二級造園施工管理検定学習」「製菓・製パン・メニュー開発」「ワインを学ぼう」等、多種多様な21講座が開講されました。当初、68名の生徒が登録し、随時追加受講者を加えながら実施しています。これまで受講した生徒からは「ニュースを意欲的に見るようになった」「韓国語を覚えるのが楽しかった」「農業鑑定競技の全国大会に出られるよう努力したいと思った」「マフィンを改良したり、いろんなことに挑戦して楽しかった」など、意欲的な感想が寄せられました。この時間は、生徒と教員のコミュニケーションの場ともなり、学校生活をさらに充実させる貴重な機会となっています。

マイスター・ハイスクール（次世代地域産業人材育成刷新事業）指定校に決定

農場長　嶋津　文彦

産業界と高校が連携して先端技術の人材育成に取り組む文部科学省の「マイスター・ハイスクール」事業に、本校が指定されました。文部科学省の新規事業で、全国で12機関が指定され、関東甲信東海地方の指定は本校のみです。

1　事業名
山梨ワイン発展のための協働と若手技術者の育成
～ワイン醸造学習を中心としたワイン県やまなしの地域資源活用、地域活性化、新たな価値を創造する職業人材の育成を目指して～

2　事業内容
地方自治体（甲斐市）・県産業界（甲斐市商工会）・学校設置者（山梨県教育委員会）が共同申請者となり、農林高等学校を指定校とし、マイスター・ハイスクールＣＥＯ（県産業界の現役役職者）のマネジメントにより、産業実務家教員（企業技術者）による授業や企業実習に取組み、産業界と一体となって県ワイン産業の職業人材育成を進めます。将来的には、ワイン学習プログラムを広げることも視野に入れています。指定は２０２３年度までの３年間。

交通事故をなくす取り組み

生徒指導主事　坂本　篤

高校生が運転する原付や自転車の交通事故は後を絶たず、高校生が第１当事者となるケースも増加しています。本校においても、ＰＴＡや関係機関と連携して安全教育に取り組んでおりますが、登下校中や休日の事故が何件も発生しています。高校生は、事故の恐さや交通法規の必要性を頭では分かっていても、実際の路上では、それが正しい行動に結びついていないことが多いと感じます。若者特有の特性もあるかもしれませんが、事故を起こした人に課せられる義務や責任を正しく理解できていないのかもしれません。

生徒が生涯に渡って安全な生活を送ることができるよう、高校時代に交通社会人としてのマナーとモラルを身につけることが大切です。今年度、4月に危険性を理解して安全を考えるという内容でＪＡＦ山梨支部（丹澤氏）による交通安全講話を実施し、各自が自分の登下校を見直しました。6月には甲斐警察署とＪＡ共済主催のスタントマンによる交通安全教室を開催し、危険な自転車走行に伴う事故を模擬体験して安全な運転の必要性を学びました。また、今年度から、生徒が主体的に交通法規とマナーについて考えるきっかけとすべく、学期末に全校生徒と保護者を対象にＦｏｒｍｓを使用した交通アンケートを実施します。

高校生に多い交通違反に『一時不停止』『自転車運転中のイヤフォンやスマホ使用』があります。交通には相手がいること。自分のことしか考えていない行動は事故につながること。他者の行動を予測しなければ危険回避ができないことを再度認識し、正しい行動がとれるよう引き続き安全教育に取り組んでまいります。関係各位には、ご指導・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

講話・交通安全教室の様子

進路状況（過去三年間の主な実績）

〈就職〉
甲斐日産自動車株式会社、株式会社中村製作所、関東建設マネジメント株式会社、山梨積水株式会社、株式会社サンウッド、甲信梱包株式会社、株式会社富士エンジニアリング、アイパックスイケタニ株式会社甲府事業所、株式会社ムラコシ精工山梨事業所、東洋アイテック株式会社山梨工場、有限会社清水ステンレス、株式会社ティ・エス・シー山梨工場、株式会社山幸、株式会社ササキ、株式会社シャトレーゼ、神州一味噌株式会社、甲府東洋株式会社、ニューロン製菓株式会社、株式会社みすずコーポレーション、熊本県果実農業協同組合連合会白州工場、龍王産業株式会社、株式会社洋菓子舗ウエスト一宮工場、株式会社はくばく、株式会社オギノ、株式会社アマノ、株式会社山梨イエローハット、株式会社サカイ引越センター、株式会社カサ・ピノ・ジャパン韮崎工場、株式会社石和名湯館糸柳、株式会社セラヴィリゾート泉郷清里高原ホテル、株式会社レイクウッドコーポレーション、株式会大場造園、株式会社田中造園、有限会社吉井造園、株式会社津々美造園、株式会社石原グリーン建設、社会福祉法人やまなし勤労者福祉会、医療法人社団高原会、甲斐市役所、航空自衛隊自衛官候補生

〈進学〉
山梨学院大学、健康科学大学、帝京科学大学、駿河台大学、神奈川工科大学、ものつくり大学、東京農業大学、南九州大学、上武大学、日本大学、育英大学、大東文化大学、城西大学、山梨学院短期大学、武蔵丘短期大学、山梨県立農業大学校、山梨県立産業技術短期大学校、山梨県立宝石美術専門学校、山梨県立峡南高等技術専門校、山梨秀峰調理師専門学校、甲府看護専門学校、山梨県美容専門学校 サンテクノカレッジ、大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校、優和福祉専門学校、東京愛犬専門学校、ファッションカレッジ桜ヶ丘、国際ペットワールド専門学校、日本自動車大学校、日本工学院八王子専門学校、中央医療健康大学校、HAL東京、ビジョナリーアーツ東京、中央歯科衛生士調理製菓専門学校、育成調教技術者養成研修（BTC研修）服部栄養専門学校、名古屋スイーツ&カフェ専門学校、新東京歯科衛生士学校

〈令和二年度卒業生〉
○就職　66名　・　進学　65名
○進学の内訳
大学　10名　・　短大　6名　・　専門学校　49名

第七十三回山梨県高等学校総合体育大会

令和3年度、第73回山梨県高等学校総合体育大会が5月12日から3日間行われました。
総体では、関東・インターハイ、その他の全国大会予選を兼ねている競技もありその結果、関東大会出場に陸上競技部、レスリング部、またその他の全国大会にはレスリング部が出場資格を獲得しました。今後の大会においても農林高校性の活躍を心から応援したいと思います。

○テニス
男子シングルス　小林朱綺 ベスト32、飯野智聖 2回戦敗退、上田敏輝 1回戦敗退、小田切響矢 1回戦敗退、鈴木竜也 1回戦敗退、谷口裕1回戦敗退
女子シングルス　佐竹葵野 1回戦敗退
男子　ダブルス　飯野・小林 準々決勝敗退 ベスト8、上田・小田切 1回戦敗退、鈴木・寺崎 1回戦敗退
男子団体　1回戦　農林1－2東海大甲府 敗退
○ソフトテニス　男子団体　1回戦　農林0－3身延 敗退
○卓球　男子　1回戦　農林 1－3山梨　敗退
女子　準々決勝 農林 0－3甲府商業 敗退 ベスト8、順位決定戦 農林 1－2 吉田 敗退、農林 2－3山梨 敗退、女子　団体戦8位
○サッカー　1回戦　農林0－7甲府南
○陸上　男子5000m 第5位 宮川蓮乃、女子1500m 第7位 新津今日華
女子3000m 第6位 新津今日華、女子ハンマー投 第3位 永田舞
○剣道 個人戦　男子 山本翔三・飯嶋未来 2回戦敗退
女子 河野日向 2回戦敗退
○弓道
男子Aチーム1次予選通過、男子B 女子A・Bチーム予選敗退
〈個人戦〉石川友陽 予選通過〈団体戦〉男子Aチーム2次予選敗退
〈個人戦〉入賞なし（石川 10位タイ）
○バスケットボール　1回戦 農林78－81山梨
○レスリング 団体戦 リーグ戦 3位 1回戦 農林0－7韮崎工業 2回戦 農林2－5城西
・フリースタイル〈個人戦〉
51kg 山本貴雪 3位、60kg 伊東秀斗 3位、80kg 竹川颯柊 3位、92kg 山本舜 2位、125kg 宮川倖征 3位
・グレコローマンスタイル〈個人戦〉
51kg 山本貴雪 3位、55kg 一瀬連 3位、80kg 竹川颯柊 2位、80kg 田村鷹彦 3位、92kg 山本舜 3位、125kg 宮川倖征 3位

指導性、社会性、科学性を高めています

今学期は、コロナ対策をしながら農業クラブ総会、新入生オリエンテーション、校内意見発表、地域交流等が実施され、その中で必ず農業クラブの目標を説明してきました。農業クラブの目標は「指導性、社会性、科学性を高めること」を掲げています。生徒の皆さんの学習内容は各学科により異なりますが、樹木の剪定、測量の実習、花・野菜の栽培、食品製造等全ての授業、学校生活を通して皆さんは農業クラブの活動に参加し、目標に向かっています。農業クラブの目標である「指導性、社会性」には、どちらも自分の考えを持ち、相手の考えを受け入れ、協力して集団の考えを構築していき、社会へ貢献するといった「つながり」を感じます。また、「科学性」は職業的な技術を持つことで、困難な状況になっても「問題解決能力」の向上に大きく貢献するように思います。これらは生涯を通して重要なことであり、学校生活等を通して意識していくことが大切です。現在もコロナ感染症の影響で様々活動に制限等ありますが、今与えられた環境の中でどのように行動したら良いのか考えることにより、一人一人が目標に近づいていきます。そして学んだことが将来、社会に貢献していることに気づく時が必ず来ます。その時を楽しみにしていてください。

放送で行う
校内意見発表

学校説明会・アグリサイエンス講座

今年度の学校説明会は8月22日(日)に桃源文化会館桃源ホールで実施します。内容は前期募集検査も含め入試の話、進路指導、生徒会活動、5学科の説明を行います。詳しい学校の様子がわかりますので、ぜひ学校説明会に参加してください。職員・生徒一同お待ちしております。また、12月4日(土)に学校説明会第2弾も行います。
中学生向けアグリサイエンス講座は7月～12月に10講座実施します。「ブドウの魅力」「野菜博士」「森林の機能」「本棚作り」「橋について」「距離測定」「建設機械操作」「竹を使った小物作り」「みかんの薄皮」「スポンジケーキ」等、各学科での特性を生かした講座を企画しています。
学校説明会・アグリサイエンス講座の参加希望の方は、農林高校ホームページ上（Forms）で行いますので、各自申し込みをお願いいたします。

学校Web サイトもご覧ください
http://www.norinh.kai.ed.jp/